

## 令和7年度 湖南省環境審議会 会議概要

●開催日時 令和8年2月12日（木） 10時00分～11時30分

●開催場所 湖南省共同福祉施設 1階 大会議室

●出席委員

鈴木一実委員（会長）、野呂昶委員（副会長）、櫻井敦委員、小山貴司委員、山川修委員、谷口三彦委員、安部哲司代理委員（以上7名）

●欠席委員

来田博美委員、酒井輝義委員、長谷川勇吉郎委員、上西保委員、山出富貴子委員（以上5名）

●事務局

中村副市長、青木部長、野崎次長、田中課長、本井主幹、松浦主査、雨森公害専門員（以上6名）

●配布資料

資料1 第二次湖南省環境基本計画の進捗状況について

資料2 不適正処理等への湖南省の取り組みについて

●会議録

### 1. 開会

副市長あいさつ（省略）

委員紹介（省略）

### 2. 議事

（1）第二次湖南省環境基本計画の進捗状況について

事務局より、資料1・第二次湖南省環境基本計画の進捗状況について説明した。

（委員）

各目標値はそれぞれ中間見直しの時に定めたのか。

（事務局）

目標値については当初の計画と同じものが多いが、取り組みをすすめていく中でもうすでに達成できたものやコロナ禍の影響を受けたものについては中間見直しの時に変更している。

（委員）

有害鳥獣駆除頭数が近年増えてきていると感じているが現状を教えてください。

（事務局）

中間見直しの時は駆除頭数がさほど多くなかったが、だんだんとアライグマの捕獲数が増えている。農林振興課では檻を市民の方に貸し出しており、それで捕獲されたら農林振興課が回収して処理している。イノシシとシカも増えている。ニホンジカはウツクシマツの自生地ではちいさな芽を食べたりしている。農林振興課で今ウツクシマツの保全に向けて動いているがシカが悪さをしている状況。農作物にはイノシシが襲い掛かっている。市としては有害鳥獣駆除にもっと力をいれていかなければならないと感じている。

（委員）

不法投棄の回収量が減っているがどういう見解か。感覚的には不法投棄が減っている感じはしない。地元の方でも自分が処理できるものについてはだいたひ拾っている。

（事務局）

不法投棄の回収については感覚的に市への通報は減っているが、おっしゃるとおり不法投棄が減っているとは言えない。地域の方のご協力があつて回収量が減っている側面がある。

（委員）

12 ページの環境学習だが目標年の数値が令和 6 年度よりも少なくなつてゐる。人数よりも参加率の方がわかりやすいのではないか。

（事務局）

参加人数については令和 4 年度からだいたひ増えている。参加率でもよいのかもしれない。

（委員）

河川愛護運動はどのような形で進められているのか。

（事務局）

河川愛護運動は土木建設課の方で推進しており、7 月は河川愛護月間として地域の方が河川の草刈を主にされている。草木置場は土木建設課の方で用意させていただいて搬入作業を地元と共同で行っている。

（委員）

省エネルギー脱炭素に向けた取り組みはなかなか浸透していない。工業団地協会の各企業でパネルを設置していない企業が結構あるが、設置するとこんな効果がある等地域として PR していきたいと思っている。業界の中で年に 1 回太陽光の研修会を行っている。

（事務局）

ウルトラパワーと一緒に再生エネルギーの普及をすすめていきたいのでぜひ協力してほしい。

（委員）

ウツクシマツの現在の状況は。

（事務局）

国の天然記念物として指定を受けているのは、ウツクシマツ本体ではなくウツクシマツ自生地である。昭和の時代から管理を続けているが現在は壊滅の危機に瀕している。本数は非常に少なくなつてきている。いろいろ対策は講じているがうまくいっていない。これでは駄目だということで市で令和 3 年にウツクシマツの保存活用計画を策定し、国の支援を受けてウツクシマツが自生する環境を整えてきたところだ。ウツクシマツは大正 13 年の 450 本から昭和 55 年の 264 本まで減っているがまずはその地域の保存に向けて動いている。令和元年には 86 本になってしまった。薬剤の空中散布等により最近はあまり減っていない。少し芽生えてきているのもある。シカが悪さをしたりしているが、地域の方々や専門家の方々に入つていただき協議会を立ち上げている。

そういった方々に現場を見ていただいているなかでは、シカによる食害が一番懸念されているので、その対策を進めている。これである程度落ち着いてきたら観光の方に活用していきたい。

(委員)

重点目標にあがっているのに未実施のものがあるのはなぜ。

(事務局)

重点目標にあがっているので当然今後取り組む予定。

(委員)

14 ページのごみカレンダーの多言語版についてだが在留外国人の状況は。

(事務局)

湖南省には工業団地があるのでブラジルの方が一番多い。最近はベトナム、中国、マレーシアの方が多。ごみカレンダーの多言語版の予算化を検討している。

(2) 湖南省における環境保全の取り組みについて

事務局より、資料2・不適正処理等への湖南省の取り組みについて説明した。

(委員)

1 か月に3回ぐらい不法投棄があつて警察にも通報したが犯人の特定まで至らなかった。ごみの中身を見たら外国語が書いてあつた。そういうこともあり啓発活動を外国人の方々に対して行うことが重要だ。何かいい方法でもあればいいが。

(事務局)

基本のごみステーションは綺麗にすれば捨てにくいというのがあるので普段から綺麗さを保つというのが重要である。また、見えにくい木や草があるところへもポイ捨てされやすいのでなるべく死角を作らないことも重要である。なかなか大変だと思うが市民の方々にはその辺をお願いしたい。

### 3. 閉会

(事務局)

以上をもちまして、令和7年度の環境審議会を閉会させていただきます。本日はお疲れ様でした。